

I 類 B

# 専 門 問 題

令和元年 9 月 施行 職員採用（保健師）

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意

- 1 問題は全部で **10 題**あり、ページ数は **13 ページ**、試験時間は **1 時間 30 分**です。
- 2 解答用紙は、全部で **7 ページ**です。
- 3 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
- 4 記述問題については、解答を解答用紙【記述】（**A**～**E**）に記入してください。
- 5 この問題用紙は、持ち帰ることができます。



「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」について、正しいものを選びなさい。

- 1 養護者による障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見した者は、速やかに警察に通報しなければならない。
- 2 事業所の使用者による障害者虐待が疑われた場合は、まず事業主に相談し、慎重に事実確認を進める必要がある。
- 3 障害者福祉施設従事者等による虐待は、移動支援事業、障害福祉サービス事業に係る業務に従事する者が含まれる。
- 4 市町村は、障害者虐待を受けた障害者の居住場所の確保等必要な施策を講じなければならないが、その中に就業の支援は含まれない。

保健師が行う保健指導について、空欄に当てはまる語句として、適切な組み合わせはどれか選びなさい。

保健師が行う保健指導は、を基盤にして、公衆衛生活動に貢献するものである。保健師の働きかけは、常に対象のへの支援を基本とし、本人・家族・地域住民による自立的な問題解決を支援することによって、社会全体の健康生活を守るという立場が貫かれていなくてはならない。

- |   | A    | B      |
|---|------|--------|
| 1 | 看護技術 | セルフケア  |
| 2 | 地域診断 | セルフケア  |
| 3 | 看護技術 | アドボカシー |
| 4 | 地域診断 | アドボカシー |

Aさんは41歳男性で、妻と息子との3人暮らしである。30歳頃から徐々に飲酒量が増加し、就労していたが時々遅刻することがあった。二日酔いで休むことも多くなり、妻が休暇の連絡をしていた。買い置きの焼酎がなくなると怒鳴る事もあるため、妻が必ずお酒を準備していた。休みの日には一日中食事もとらず飲み続ける事がたびたびあり、職場の健康診断では肝機能数値が高く要受診になっていた。身体が心配になった妻から初めて保健所に電話相談が入った。Aさんは本日休みをとり、別室にいるとのことであった。

保健師の対応で最も適切なものを選びなさい。

- 1 緊急性の高いアルコール依存症と判断し、妻に医療保護入院に向けて説明をした。
- 2 妻の困りごとを正確に把握する必要があると判断し、来所相談を提案した。
- 3 緊急介入が必要なアルコール依存症の進行と判断し、Aさんに電話を代わってもらい受診勧奨をした。
- 4 アルコール依存症による身体症状の悪化と判断し、産業医に連絡をとり受診勧奨について連携の依頼をした。

地域における健康危機管理に係る法律と対策の組み合わせとして適切なものを一つ選択しなさい。

- 1 予防接種法 ————— 事前対応型の感染症予防体制の構築
- 2 予防接種法 ————— 平時からの主要な感染症の感受性対策
- 3 感染症法<sup>※1</sup> ————— 国内に常在しない感染症の病原体の国内への侵入防止
- 4 医薬品医療機器等法<sup>※2</sup> ————— 毒物及び劇物について保健衛生上の見地から必要な取締り

※1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」

※2 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

平成26年12月に文部科学省と厚生労働省によって示された、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成29年2月一部改正）」について正しい組合せはどれか。

- A この指針が示されるまで、多くの疫学調査研究においては、身体的危険がほとんどないため、倫理ガイドラインは必ずしも必要と考えられていなかった。
- B 指針の目的は、人間の尊厳及び人権が守られ、研究の適正な推進が図られるようにすることである。
- C この指針は、人を対象とする医学系研究の実施に当たり、医師が遵守すべき事項について定めたものである。
- D 研究対象者等への配慮として、「研究者等は、研究を実施するに当たっては、原則としてあらかじめインフォームド・コンセントを受けなければならない。」とされている。

- 1 AとB            2 AとC            3 CとD            4 BとD

家族は、その構成員がさまざまな機能を持って、社会性を拡大し、社会の構成員としての役割を発揮させていく。

フリードマン (Friedman, M. M.) は、家族の基本となる機能について5つにまとめている。「家族の機能」についてそれぞれ説明しなさい。

家族の機能	説 明
情 緒 機 能	①
社会化と社会付置機能	②
経 済 機 能	③
生 殖 機 能	④
ヘルスケア機能	⑤

解答は、解答用紙 

A
---

 に記入しなさい。



7

Aさんは43歳男性で、高齢の母親と二人暮らしである。B病院に統合失調症で医療保護入院をし、4週間が経った。Aさんは医療中断をしては入退院を繰り返していた。今回の入院時に、近隣とのトラブルや同居の母親に対しての暴力もあった。母親は退院後の同居に不安を訴えているとのことであった。

B病院の医療相談員から、退院後の支援について保健所に依頼の連絡があり、Aさんについて把握した。

地区担当の保健師であるあなたは、はじめてAさんに会いに病院訪問をすることにした。

退院支援のための初回病院訪問時に把握すべき必要な情報について、それぞれ5つ述べなさい。

本人から把握する 情報	
医療機関から把握 する情報	

解答は、解答用紙 

B
---

 に記入しなさい。

8

28週610gで出生したA君は、人工呼吸器の装着と経管栄養の医療的ケアが必要な状態となったが、病状が安定したため、1歳6か月で自宅へ退院した。

退院後、訪問看護ステーションが週5回入り、在宅での医療ケアのトラブルもなく1か月が経過した。A君は、座位からつかまり立ちが始まり、いろいろなものへ手を伸ばすようになって、家の中で目が離せない状況になっていた。

母は、高血圧やめまいを起し体調不良を訴えることが多くなったが、依然として早く復職したいと考えていた。

家族は、保育園に通う5歳の姉と父母の4人暮らし。父母の実家は遠方のため、なかなか手伝いに来られない。

保健所保健師として、それぞれの対象に対して、現時点で必要な支援内容を具体的に説明しなさい。

対 象	支援内容
A 君	
父 母	
姉	
関係機関	

解答は、解答用紙 C に記入しなさい。

平成26年5月に「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」が成立し、難病対策の1つとして、国民の理解の促進と難病患者の社会参加のための施策が推進されているところである。

①から④に施策又は内容について記載しなさい。

施 策	内 容
普及啓発	難病情報センターを通して有用情報の提供をより充実させ、国民や関係機関の理解を深める。
①	②
福祉サービスの充実	障害福祉サービスの対象疾患を拡大し、難病患者の療養生活の質の維持向上を図る。
③	④

解答は、解答用紙 D に記入しなさい。

H保健所管内の医療機関から、「腸管出血性大腸菌感染症（O157）」の発生届があった。また、診断した医師から、『患者は管内に居住する中学生の男子で、母親の動揺が強く、涙を流すなど感情的になっています。中学校の欠席状況調査については、「子どもがいじめられる」ので拒否しています』との情報提供があった。

- 1 本事例の探知から終息までの、居住地保健所における感染症法に基づく保健活動の流れについて、空欄に適切な語句を記入しなさい。

事例の探知→→初動体制・調査実施の決定→調査の実施・当面の対策実施

→→、情報の分析→終息の判断

- 2 居住地の保健所が行う患者への調査や治療継続に向けた相談支援について、エに支援内容を記載しなさい。また、オ・カには何故その支援が必要と考えたかの理由をそれぞれ3つ記載しなさい。

支援内容	支援が必要と考えた理由
エ	オ ① ② ③
接触者や関係者への相談支援	カ ① ② ③
感染拡大予防、今後の再発予防のための健康教育	感染拡大や再発予防のために、疾患の治療経過、二次感染予防、集団事例全体の発生状況や今後の調査・対策等について説明する必要がある。 対策疾患の感染経路を説明し、特に就業制限、行動上の注意や制限、手洗いや消毒の励行の必要性や具体的方法を伝える必要がある。

解答は、解答用紙  に記入しなさい。

【 メ モ 】